

## 「まるっとーく 2017」 実施報告

### 1 概要

日程	2017年11月23日(木・祝)	
場所	龍谷大学深草キャンパス	
主催	京都高大連携研究協議会(京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府私立中学高等学校連合会・京都商工会議所・大学コンソーシアム京都)	
参加者	高校生	30名 (京都府立北嵯峨高校、京都府立南陽高校、京都市立紫野高校、京都市立銅駝美術工芸高校、京都学園高校、京都橘高校、立命館宇治高校)
	大学生等	12名 大阪府立大学、大谷大学、京都教育大学、京都女子大学、京都大学、近畿大学、立命館大学、まるっとーく OB

### 2 当日の流れ

- 10:00～ 趣旨説明・アイスブレイク(CUPS)
- 11:00頃～ 主に自校や取り組んでいることなどについて紹介
- 12:00頃～ 昼休憩、グループ毎に昼食を取りながら交流
- 13:00頃～ アイスブレイク(絵で伝達ゲーム)
- 14:00頃～ ワークショップ①「理想の学校について考える」
- 15:00頃～ グループごとに発表
- 16:00頃～ ワークショップ②
- 17:30 終了

### 3 実施報告

今年度の「まるっとーく」は、様々な高校間での交流を目的として、計7校に参加いただきました。

当日までに約3日間、各高校担当の大学生が担当の高校に出向き、当日午前の発表(自校や自身が現在取り組んでいること等について紹介)のフォロー、また事前交流を行いました。

午前の発表では、パワーポイントや紙芝居等、各自特徴的な方法で、自校の紹介や現在取り組んでいること等について発表されていました。

午後からのワークショップ①では、あらかじめ用意した課題(「おもしろい授業はどういうもの?」「寝ない授業はどういうもの?」など)の中からグループごとに、取り上げ

る課題を選び、その課題について意見交換をおこない、理想の学校を探っていき、グループ毎に発表を行いました。

ワークショップ②では、ワークショップ①を踏まえ、理想の学校にするために、自分にできることについて考え、キーワードに落とし込んだ後、全体に発表を行いました。

終了後のアンケートでは、高校生からは「他校の生徒との交流は楽しく新鮮であった。」「自分とは違う価値観の人と交流できてよかった」といった意見が、大学生からは、「準備の大切さを学んだ」「高校生の感性に刺激を受けた」など、また、高校の先生方からは、「大学生や他校と交流する機会が中々ないため、生徒はもちろん私自身も視野を広げることができた」「いろんな興味・関心をもった人々との交流は、新鮮で刺激的だった」など、非常に満足いただけたとともに、交流により様々な気付を得ていただけた様子でした。

